

高知県感染症発生動向調査(週報)

2011年第16週[4月18日～4月24日]

高知県衛生研究所 高知県感染症情報センター

TEL:088-821-4961 FAX:088-825-2869

http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/

E-mail: kansen@ken4.pref.kochi.jp

麻疹患者の増加について

東京都及び神奈川県において、第15週(4月11日～17日)から増加がみられている。今後、麻疹患者が増加する可能性が懸念されている。感染力が強いが、治療方法はなく、ワクチン接種にて免疫を獲得しておくことが唯一の予防方法である。

新型インフルエンザの季節性インフルエンザへの移行について

2009年に流行した新型インフルエンザは、2011年4月1日より、季節性インフルエンザとして位置づけされた。

県内情報

○ 患者情報総評

注意報発令疾患：インフルエンザ

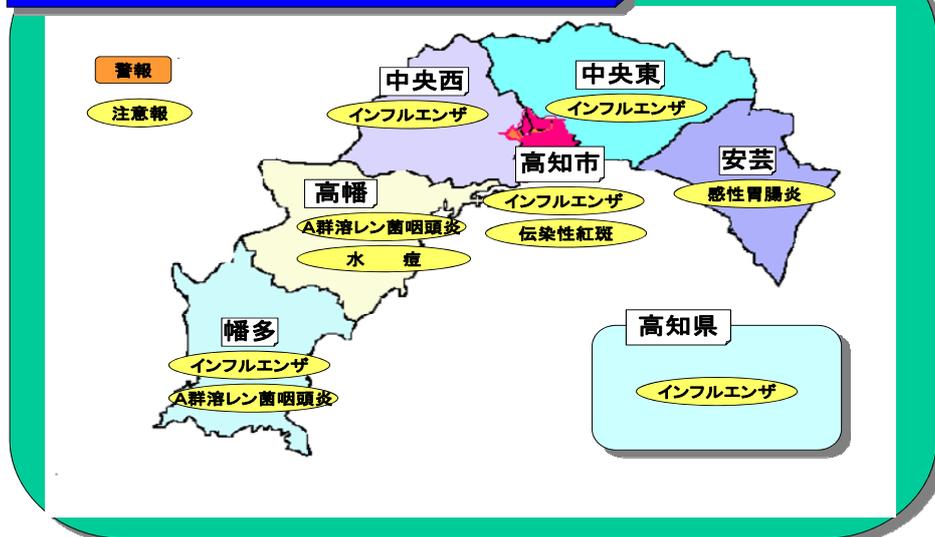
- 週のはじめは気温が低かったが、日を迫る毎に上昇した。
- インフルエンザ(高知市：注意報→注意報，幡多：注意報→注意報，中央西：注意報→注意報：中央東：注意報)は高幡をのぞく地域で増加し、総数は再び増加に転じた。
- 感染性胃腸炎(安芸：注意報→注意報)は中央東，中央西，高幡で増加したが、その他の地域で減少し、総数は横ばいであった。
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(高幡：注意報→注意報，幡多：注意報→注意報)は地域毎にみても報告数の大きな変動はなく、総数も横ばいであった。
- 水痘(高幡：注意報→注意報)は高知市で前週の2倍に増加したが、その他の地域で減少または横ばいとなり、総数は横ばいであった。

上位疾患構成図



地域別感染症注意報・警報発生状況

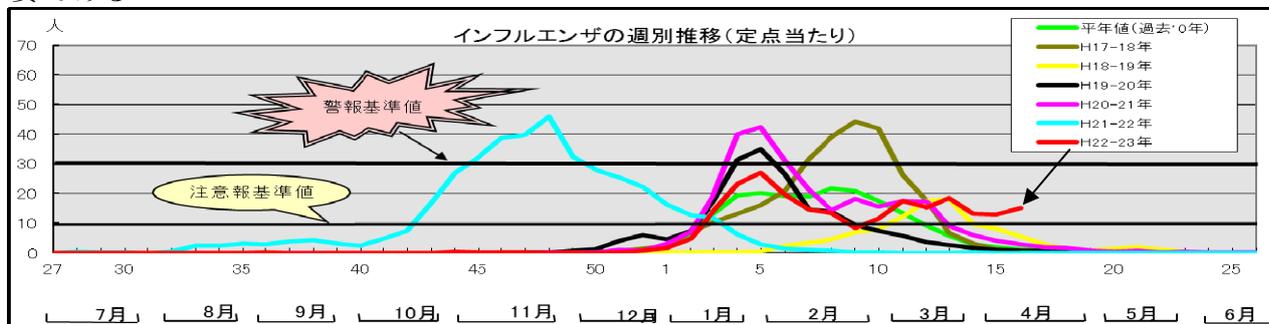
第16報(2011年4月18日～2011年4月24日)



インフルエンザ：今週 14.98 （注意報値：10.00 警報値：30.00）

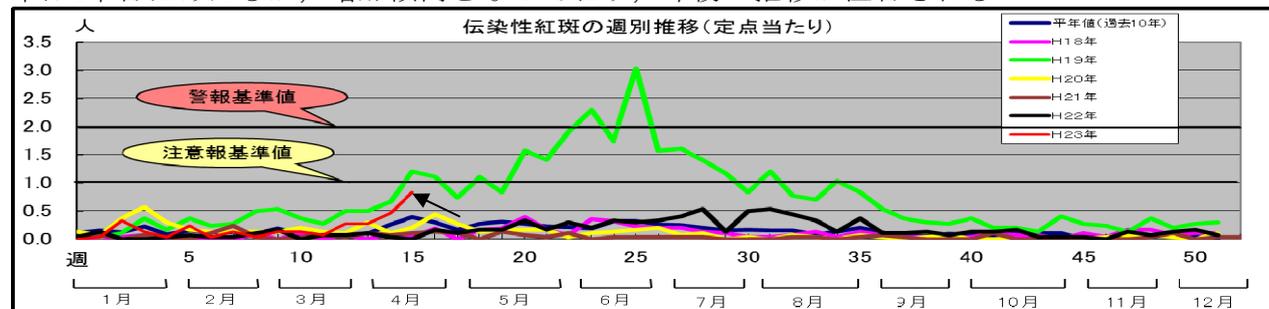
例年であれば4月に入ると終息に向かって減少していくが、今シーズンは依然注意報値を上回っている。地域毎にみても、中央医療圏と幡多では注意報値を越す流行が続いている。年齢別に見ると、5～9歳が41.4%、10～14歳が20.3%、1～4歳が17.0%の順で報告が多く、5～9歳の割合が増加している。今週はAH1pdm 1件、AH3（A香港型）2件検出された。

感染症予防の基本は、手洗い・うがい、咳エチケットの励行であり、今後も引き続き注意が必要である。



伝染性紅斑：今週 0.83 （注意報値：1.00 警報値：2.00）

高知市で大幅に増加し、注意報値を越した。総数も注意報値に迫る報告数となった。本疾患はほぼ5年毎の流行周期で発生数の増加がみられており、前は平成19年に流行がみられた。今年は4年目にあたるが、増加傾向となっており、今後の推移が注目される。

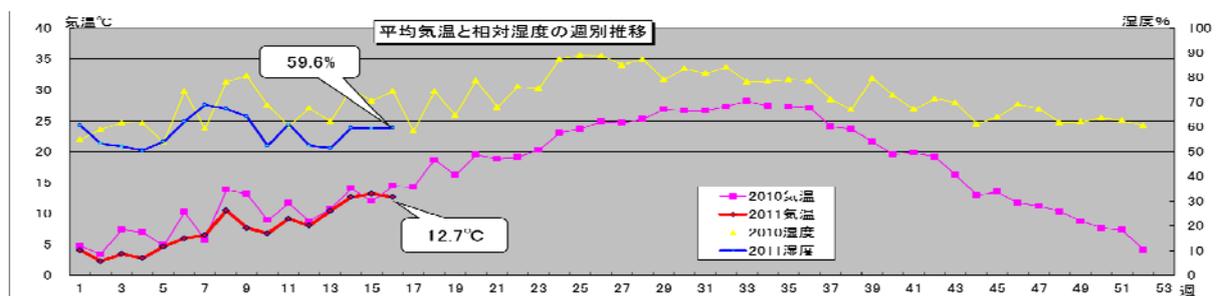


検査情報

週	臨床診断名	患者	地域	ウイルス、細菌の検出状況
13	心筋炎	8カ月 男	中央東	Parechovirus-NT
15	感染性胃腸炎	3歳 男	高幡	Sapovirus genogroup unknown
15	感染性胃腸炎	7歳 女	高幡	Sapovirus genogroup unknown
16	インフルエンザ	6歳 男	高知市	Influenza virus A H1pdm
16	インフルエンザ	2歳 男	高知市	Influenza virus A H3 NT
16	インフルエンザ	9歳 男	高知市	Influenza virus A H3 NT
16	百日咳	1歳 男	高幡	<i>Bordetella pertussis</i>
16	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8歳 女	高知市	<i>Streptococcus pyogenes</i> T12
16	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5歳 女	高知市	<i>Streptococcus pyogenes</i> TB3264

- 全数報告の感染症情報
2類感染症：結核 4例（80代女，90代男）《中央東》（80代女）《幡多》（30代男）《高知市》（今年40例）

- 高知県の平均気温と湿度（週別）



○ 定点からの地域ホット情報

幡多：

- 《幡多けんみん病院小児科》：インフルエンザの21例中3例はA型陽性，18例はB型陽性
- 《さたけ小児科》：インフルエンザの33例中4例はA型陽性，26例はB型陽性
- 《大井田病院小児科》：インフルエンザの1例はB型陽性
- 《渭南病院小児科》：インフルエンザの19例中6例はA型陽性，13例はB型陽性，予防接種歴あり1例，なし18例
- 《こいけクリニック》：インフルエンザの38例中2例はA型陽性，36例はB型陽性
- 《幡多けんみん病院内科》：インフルエンザの10例中3例はA型陽性，7例はB型陽性
- 《松谷内科》：インフルエンザの3例中1例はA型陽性，1例はB型陽性，1例は臨床診断

高幡：

- 《もりはた小児科》：インフルエンザの18例中3例はA型陽性，15例はB型陽性，予防接種歴ありは6例
ヘルペス性歯肉口内炎 1例（3歳男） アデノウイルス感染症 2例（2,6歳）
（第15週）カンピロバクター腸炎 1例（13歳男）
- 《大西病院小児科》：インフルエンザの4例中2例はB型陽性
- 《須崎くろしお病院内科》：インフルエンザの3例はB型陽性

中央西：

- 《石黒小児科》：インフルエンザの24例中4例はA型陽性，20例はB型陽性，予防接種歴ありは9例
水痘の1例（2歳女）はワクチン接種済み
- 《くぼたこどもクリニック》：インフルエンザの25例は全てB型陽性，うち6例は予防接種歴あり
感染性胃腸炎の1例（1歳女）は高知市
- 《岡本内科》：インフルエンザの3例中全て予防接種歴なし
- 《土佐市民病院内科》：インフルエンザの16例中2例はA型陽性，14例はB型陽性

高知市：

- 《細木病院小児科》：インフルエンザの33例は全てB型陽性 アデノウイルス陽性 1例（2歳女）
- 《矢野小児科》：インフルエンザの32例中1例は予防接種歴あり
- 《福井小児科内科》：インフルエンザの32例中5例はA型陽性，27例はB型陽性，予防接種歴ありは4例
伝染性紅斑が流行っている
- 《けら小児科・アレルギー科》：インフルエンザの113例中2例はA型陽性，111例はB型陽性，予防接種歴ありは34例
伝染性紅斑は集団発生あり
- 《依岡内科》：インフルエンザの4例中2例はA型陽性，2例はB型陽性
- 《高知医療センター小児科》：インフルエンザの3例中1例はA型陽性，2例はB型陽性，予防接種歴ありは1例
- 《細木病院内科》：インフルエンザの7例は全てB型陽性
- 《高知赤十字病院内科》：インフルエンザの5例中1例はB型陽性，予防接種歴ありは1例，なしは3例
- 《近森病院内科》：インフルエンザの16例中1例はA型陽性，14例はB型陽性，うち予防接種歴ありは2例，
なしは1例
- 《高知医療センター内科》：インフルエンザの3例中1例はA型陽性，2例はB型陽性，予防接種歴なし

中央東：

- 《吉本小児科皮膚科》：インフルエンザの11例は全てB型陽性
- 《あけぼの小児クリニック》：インフルエンザの20例は全てB型陽性 アデノウイルス咽頭炎 1例（3歳男）
- 《野市中央病院小児科》：インフルエンザの4例はB型陽性，予防接種歴ありは1例，なしは3例
- 《早明浦病院小児科》：インフルエンザの45例は全てB型陽性
感染性胃腸炎の3例（1,0歳男女）はロタウイルス感染症
- 《いちほら内科小児科》：インフルエンザの14例は全てB型陽性
- 《野市中央病院内科》：インフルエンザの3例はB型陽性
- 《嶺北中央病院内科》：インフルエンザの10例中3例は予防接種歴あり

安芸：

- 《県立安芸病院小児科》：インフルエンザの15例中7例はB型陽性，予防接種歴なし
- 《田野病院小児科》：インフルエンザの1例はB型陽性，予防接種歴なし
- 《県立安芸病院内科》：インフルエンザの1例はB型陽性，予防接種歴なし

全国情報第14週（4/4～4/10）（<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>）

2類感染症：結核320例

3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症13例（有症者11例、うちHUS なし）、パラチフス1例

4類感染症：E型肝炎2例、A型肝炎1例、デング熱2例、マラリア2例、レジオネラ症4例（肺炎型4例）、レプトスピラ症1例

5類感染症：アメリバ赤痢13例、ウイルス性肝炎3例（B型2例、C型1例）、急性脳炎1例、クロイツフェルト・ヤコブ病1例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症2例、後天性免疫不全症候群9例〔AIDS 1例（死亡）、無症候8例〕、梅毒9例、破傷風1例、風しん6例、麻しん5例

報告遅れ：E型肝炎1例、デング熱1例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例、急性脳炎5例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症3例、風しん1例

◆麻疹ウイルス 2011年・・・2011年1～4月に埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、愛知県、大阪府、岡山県、広島県、香川県、福岡県の10都府県から32件の麻疹ウイルスの分離・検出が報告されている。

◆インフルエンザウイルス 2010/11シーズン・・・2010/11シーズン当初はAH3亜型の報告数がAH1pdmを上回っていたが、第49週以降、AH1pdmが増加した。AH1pdmは第3週をピークに減少し、第7週以降は再びAH3亜型の報告数がAH1pdmを上回っている。2010/11シーズンにはAH1pdmが全都道府県から5,782件、AH3亜型が全都道府県から3,126件、B型はビクトリア系統株が33都道府県から694件、山形系統株が10県から23件、系統不明株が28都道府県から201件報告されている。

定点名	医療圏 疾病名	安芸 医療圏	中央医療圏			高幡 医療圏	幡多 医療圏	計	前週	全国(15週)	高知県(16週末累計) H23/1/3~H23/4/24
			中央東	高知市	中央西						
内科・小児科	インフルエンザ	17	141	334	72	25	130	719 (14.98)	614 (12.79)	31,417 (6.42)	11,036 (229.92)
小児科	咽頭結膜熱		1				1	2 (0.07)	6 (0.20)	981 (0.31)	119 (3.97)
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	7	20	4	6	13	51 (1.70)	48 (1.60)	6,068 (1.94)	755 (25.17)
	感染性胃腸炎	25	57	129	34	20	51	316 (10.53)	317 (10.57)	27,641 (8.83)	4,607 (153.57)
	水痘	3	4	20	2	5	2	36 (1.20)	38 (1.27)	4,202 (1.34)	827 (27.57)
	手足口病		1	8		1		10 (0.33)	11 (0.37)	538 (0.17)	123 (4.10)
	伝染性紅斑		4	17	2	1	1	25 (0.83)	14 (0.47)	2,161 (0.69)	94 (3.13)
	突発性発疹	3	2	10	1	2	2	20 (0.67)	20 (0.67)	1,904 (0.61)	194 (6.47)
	百日咳			1				1 (0.03)		68 (0.02)	8 (0.27)
	ヘルパンギーナ			1				2 (0.07)	4 (0.13)	102 (0.03)	32 (1.07)
	流行性耳下腺炎			4				7 (0.23)	11 (0.37)	2,802 (0.89)	103 (3.43)
	RSウイルス感染症						1	1 (0.03)		594 (0.19)	554 (18.47)
眼科	急性出血性結膜炎									10 (0.01)	(0.00)
	流行性角結膜炎									308 (0.46)	14 (4.67)
基幹	細菌性髄膜炎									13 (0.03)	1 (0.14)
	無菌性髄膜炎									10 (0.02)	8 (1.14)
	マイコプラズマ肺炎			1				1 (0.14)	2 (0.29)	160 (0.35)	29 (4.14)
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)								1 (0.14)	9 (0.02)	2 (0.29)
計 (小児科定点当たり人数)		49 (20.25)	217 (23.68)	545 (39.97)	115 (28.73)	61 (24.25)	204 (31.05)	1,191 (30.68)			
前週 (小児科定点当たり人数)		42 (18.50)	179 (20.43)	495 (36.29)	102 (25.33)	70 (26.75)	198 (31.35)		1,086 (28.43)	78,988	18,506 (477.12)

定点当たり

第16週

定点名	医療圏 疾病名	安芸 医療圏	中央医療圏			高幡 医療圏	幡多 医療圏	計	前週	全国(15週)
			中央東	高知市	中央西					
内科・小児科	インフルエンザ	4.25	12.82	20.88	14.40	6.25	16.25	14.98	12.79	6.42
小児科	咽頭結膜熱		0.14				0.20	0.07	0.20	0.31
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.50	1.00	1.82	1.33	3.00	2.60	1.70	1.60	1.94
	感染性胃腸炎	12.50	8.14	11.73	11.33	10.00	10.20	10.53	10.57	8.83
	水痘	1.50	0.57	1.82	0.67	2.50	0.40	1.20	1.27	1.34
	手足口病		0.14	0.73		0.50		0.33	0.37	0.17
	伝染性紅斑		0.57	1.55	0.67	0.50	0.20	0.83	0.47	0.69
	突発性発疹	1.50	0.29	0.91	0.33	1.00	0.40	0.67	0.67	0.61
	百日咳			0.09				0.03		0.02
	ヘルパンギーナ			0.09			0.20	0.07	0.13	0.03
	流行性耳下腺炎			0.36			0.60	0.23	0.37	0.89
	RSウイルス感染症						0.50	0.03		0.19
眼科	急性出血性結膜炎									0.01
	流行性角結膜炎									0.46
基幹	細菌性髄膜炎									0.03
	無菌性髄膜炎									0.02
	マイコプラズマ肺炎			0.20				0.14	0.29	
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)							0.14		0.02
計 (小児科定点当たり人数)		20.25	23.68	39.97	28.73	24.25	31.05	30.68		
前週 (小児科定点当たり人数)		18.50	20.43	36.29	25.33	26.75	31.35		28.43	

2011年週報推移 (定点当たり)

